

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

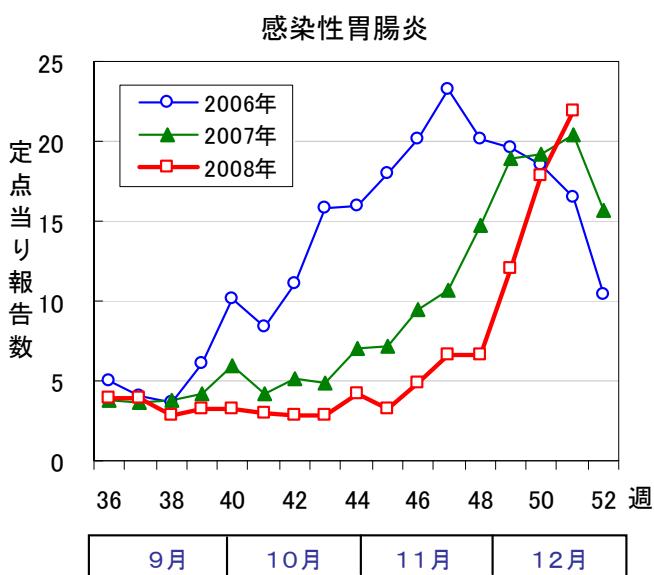
1. 感染性胃腸炎

定点当り21.8人とやや増加して、非常に多い状態となっています。安芸区49.5人、中区34.3人、西区30.7人、安佐北区23.7人、東区20.7人と特に多く、その他の区でも多くなっています。また、12月に入って、感染性胃腸炎の患者からノロウイルスが多数検出されており、集団感染も多発しています。学校・保育園・福祉施設などの集団生活の場では特に注意が必要です。

2. インフルエンザ

定点当り1.97人とやや減少しています。しかし、流行期に入っていますので注意が必要です。また、予防のためには予防接種を受けることが有効です。早めに受けることをおすすめします。

年末年始には学校や仕事が休みになる反面、帰省や初詣などで混雑する場所へ出かけることも多く、感染する機会が増えることが予想されます。健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染予防に心がけてください。



■5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年間	発生記号
インフルエンザ (注2)	73	1.97	3.48	△	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.49		流行性耳下腺炎	5	0.21	1.29	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	1.60	△	RSウイルス感染症	16	0.67	1.72	▼
感染性胃腸炎	524	21.83	20.98	△	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	68	2.83	3.37	△	流行性角結膜炎	1	0.13	0.75	
手足口病	1	0.04	0.32		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	4	0.17	0.18		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	15	0.63	0.74		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.54	
百日咳	4	0.17	0.06		クラミジア肺炎 (注3)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)

(注2)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

(注3)オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2 結核		4	224	女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・2人、男性(90歳代)・1人
3 腸管出血性大腸菌感染症		1	38	男性(70歳代)・O157・市外

■5類感染症報告状況の推移(定点把握対象分)

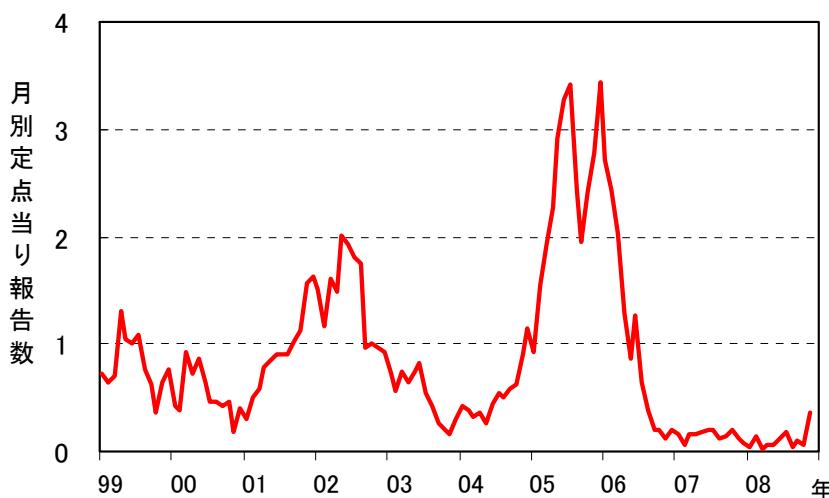
		インフルエンザ (注1) 咽頭結膜熱 （注2） エンザ	A群溶血性咽頭炎 球菌溶血性咽頭炎 感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	
報告数	広島市	第47週	2	4	56	159	36	3	3	12	6	5	8	49	-	2	-	-
		第48週	11	5	48	159	42	4	1	13	10	-	12	50	-	5	-	5
		第49週	44	3	54	287	44	1	1	16	6	-	8	51	-	3	1	2
		第50週	101	10	55	429	82	-	9	20	4	1	9	46	-	3	-	2
		第51週	73	8	48	524	68	1	4	15	4	-	5	16	-	1	-	3
定点当り	広島市	第47週	0.05	0.17	2.33	6.63	1.50	0.13	0.13	0.50	0.25	0.21	0.33	2.04	-	0.25	-	-
		第48週	0.30	0.21	2.00	6.63	1.75	0.17	0.04	0.54	0.42	-	0.50	2.08	-	0.63	-	0.71
		第49週	1.19	0.13	2.25	11.96	1.83	0.04	0.04	0.67	0.25	-	0.33	2.13	-	0.38	0.14	0.14
		第50週	2.73	0.42	2.29	17.88	3.42	-	0.38	0.83	0.17	0.04	0.38	1.92	-	0.38	-	0.29
		第51週	1.97	0.33	2.00	21.83	2.83	0.04	0.17	0.63	0.17	-	0.21	0.67	-	0.13	-	0.43
全国		第49週	1.62	0.37	2.30	11.87	1.74	0.37	0.07	0.60	0.04	0.07	0.51	1.04	0.01	0.60	0.02	0.03
		第50週	2.79	0.43	2.35	14.52	2.08	0.35	0.09	0.61	0.03	0.07	0.49	1.05	0.02	0.60	0.01	0.03

(注1)鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く (注2)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	3	男	2008/11/11	咽頭拭い液	RS ウィルス
咽頭結膜熱	2	女	2008/11/13	咽頭拭い液	RS ウィルス
無菌性結膜炎	0	男	2008/11/14	咽頭拭い液 粪便	コクサッキーウィルスB3型

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の最近10年間の発生動向 (2008年11月まで)



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、ムンプスウィルスを病原体とする感染症で、耳の下のあたりが腫れて痛くなるのが特徴です。

季節変動はありませんが、年間を通じて患者がみられますが、3~4年の周期で増減する傾向があります。

最近の広島市では、2005年から2006年の前半にかけて流行しましたが、2006年の後半から約2年間、流行はほとんどみられていません。

しかし、流行の周期から、そろそろ増加傾向に転じると予測されますので、今後の動向に注意が必要です。

(注)このグラフの縦軸は、月別定点当たり報告数の1週当たり平均値を示しています。

2008年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
月別定点当たり報告数 (人／定点／週)	0.05	0.14	0.03	0.06	0.06	0.12	0.18	0.04	0.09	0.07	0.36

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp